

囲碁入門講座通信 令和 2 年 第 6 号



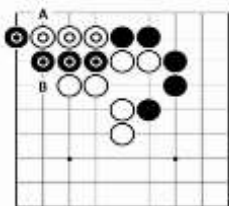
報告:有楽斎

毎月第二日曜日の午後 1 時半から午後 4 時ごろまで、朝日 2 丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの蜜」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、**現在休局中です**。(棋士名は椿に因んだ名をニックネームとして表記しています)

緊急事態宣言期間中は、外出も儘ならず何かとストレスを感じますが、入門者用の練習問題を少々ご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかくら)師匠)

ウツテガエシで石を取る

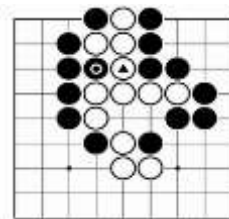
前号のオイオトシと並んで初心者を悩ませる石取りの筋にウツテガエシがあります。自分の打った石を取らせて、その直後に相手の石をまとめて取るウツテガエシは、取られたほうは悔しく、取ったほうは実に気持ちがよいものです。でも、ウツテガエシは実戦で注意していれば未然に防ぐことができます。ひと目で形がわかるように、トレーニングをしておくことが大切です。



問題 図 1 (黒番) 攻め合い

黒◎4子と白◎3子が攻め合いのような形になっています。しかし、黒Aと打っても白Bのアタリで、黒は取られてしまいます。

でも、黒にはうまい手があります。黒◎に接している右の白石2個を取ってしまうのです。さて、どう打ちますか？



問題 図 2 (黒番) チャンス

黒が◎と打ち、白が上の3子を助けるため△とつないだ場面です。白のダメが詰まったこの瞬間、黒のチャンスが訪れました。もうわかりますね。やはりウツテガエシの筋で白石を取れます。

図 1 正解 (ホウリコミ/左図) (ウツテガエシ/右図)

黒 1 のホウリコミが正解です。わざわざ取られる手を打つのはなぜか。白が黒 1 の石を取った図を頭に描くと、すぐにわかります。白 2 と黒石を取った瞬間、白石はダメが詰まって 3 子がアタリ状態になっています。

黒は×印の抜き跡に打って白 3 子を取ることができます。この手をウツテガエシといいます。

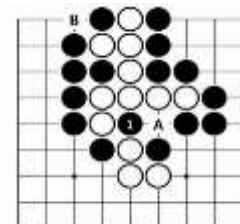
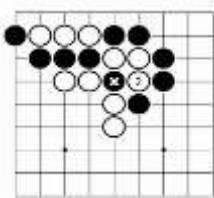
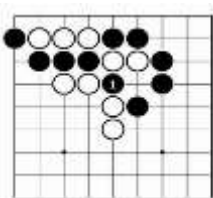


図 2 正解 (ウツテガエシ)

黒 1 のホウリコミが正解。白 A と黒石を取っても、抜き跡に黒 1 と打たれて、白石 10 個が取られてしまいます。また、白 B と上の黒 1 子を取っても、黒 A で助かりません。上の 3 子は捨てるしかない。白は問題 図 2 の△のところで、正解図の黒 1 の場所につないでおけばよかったのです。上の白 3 子は助からない石ですから、仕方ありません。

問題は、囲碁上達法(無料講座)より引用しました。次号は 5 月 20 日発行予定です